

学校教育目標	・学ぶ子 ・やさしい子 ・元気な子	目指す学校像 目指す児童像 目指す教師像	・児童の日々の生活に、教育目標が目に見える姿として表れている学校 ・健やかな体、確かな学力、豊かな心、地域を誇りに思う児童 ・使命感と責任感をもち協働・研鑽し教育力を高め合う教師
--------	-------------------	----------------------------	---

前年度までの学校経営上の成果と課題	<成果> ・国や都の学力調査では、おおむね国や都の平均を超えることができた。・学校応援団や地域の方の力を取り入れ教育活動をすすめることができた。 <課題> ・学習意欲を高めることが課題である。授業の中でICT活用を含めての工夫が必要である。
-------------------	---

教育委員会重点課題	取り組み項目	評価の視点	具体的な取り組み	数値目標	自己評価		学校関係者評価	来年度に向けた改善策
					取組	成果		
特色ある教育の展開	小中連携教育の推進	「小中連携教育構想」及び「各教科等の連携教育プログラム」による連携の充実	・6年生の部活動体験など	・中学校の部活動に興味をもつ児童8割	C	C	○中学校に興味をもつ6年生が9割を超えた。 ●コロナで部活動体験ができないときの工夫をする必要がある。	・手紙・アレビ電話等を使って、交流を増やしていくよう試みる。
	地域連携教育の推進	保護者・地域・外部の教育資源を取り入れた教育活動の充実	・各学年学期1回の取り組み	・体験の学びや交流の楽しさを感じる児童8割	B	B	○外部講師による授業や公園等の校外学習はできた。 ●外部での体験活動をより充実させる。	・コロナ禍の中でも実施され、工夫が見られるものがあつた。 ・学年単位で行えるよう工夫していく。
教員の資質向上	教員研修の充実	ICTアシスタントによる校内研修の実施によるICTを活用した教員の授業力の向上	・校内研修年2回 ・ラインズ授業支援18回の有効活用	・ICTの活用で授業内容が分かりやすいと感じる児童8割	B	B	○ラインズの研修は良かった。 ●授業支援計画を一層綿密にしていこう。	・ラインズと連携し、授業支援計画を立てて効果的に活用していく。
	特別支援教育の推進	校内委員会の活性化を図ることなどによる指導・支援の充実	・毎週の特別支援委員会での情報共有・支援の検討 ・月1回の校内委員会の実施 ・保護者・外部機関等との連携	・教室で落ち着いて学習できる児童8割	B	B	○取り組みを確実に実施し、支援につながった。 ●教員の特別支援への理解を一層深める。	・ケース会議、研修、情報共有の一層の充実を図っていく。
	教員の授業力の向上	問題解決型の授業の推進	・校内研究を核にした国語科での読む力・表現する力向上を図る授業改善 ・主任・主幹によるOJT	・国語の物語を読むことが楽しいと感じる児童8割 ・根拠をもとに表現する児童8割	B	B	○読むことが楽しいと感じる児童は8割2分 ○主幹・主任によるOJTは授業力向上につながった。 ●一層の授業改善が必要である。	・校内研究、OJTの進め方を見直し、より一層の授業改善を進める。
いきいきと学ぶ教育の充実	確かな学力の向上	「確かな学力向上推進プラン」の実施・改善や補習の実施などによる指導の充実と授業力の向上	・学習プレート、ホワイトボードの活用や板書とノート運動 ・授業規律の徹底	・国語の物語を読むことが楽しいと感じる児童8割 ・根拠をもとに表現する児童8割	B	B	○学習プレートを活用し授業を行った。 ●ホワイトボードやICT機器をより効果的に活用する。	・ホワイトボードやICT機器の活用し、根拠をもとに表現する力を伸ばす。
	読書科の更なる充実	学校図書館の整備・活用の推進や探究的な学習の充実 ・読書科ノートの活用など、探究活動、探究的な学習の充実 ・学校図書館を使った授業の充実	・ALS、図書館司書(学年で3回)の活用 ・年間指導計画に基づく探求的な学習の充実 ・読書週間や親子読書などの取り組み	・毎日20分から30分読書する児童8割 ・意欲的に本を活用して調べ表現する児童7割	B	B	○親子読書、読書週間を通して、読書に取り組む意欲をもたせられた。 ●本を活用して調べ、学習したことを表現する力を伸ばす。	・読書カードを年間通してより活用していく。 ・本を活用し、調べる学習では、より計画的に読書科ノート(ワークシート)を活用する。
	体力の向上	体育の授業や休み時間における主体的な運動の実施による運動意欲の向上	・鉄棒週間・縄跳び週間・持久走週間・25分休みでの外遊び等の充実	・運動することが楽しいと感じる児童8割	C	B	○コロナ感染症対策を講じながら実施ができた。 ●休み時間の外遊びの徹底や運動遊びの実施回数を十分にしている。	○休み時間に、外遊びで元気に遊んでいる声を聴き、安心している。また、とても良いことだ。 ●先生も子供と遊ぶとよい。
	オリパラ教育の推進	「オリンピック・パラリンピックレガシー創造プラン」に基づく取組やオリパラコーナーの充実	・アスリートなどとの交流 ・オリパラ食育や掲示板を活用したオリパラ教育の充実	・オリンピック・パラリンピックに興味をもつ児童8割	B	B	○オリパラ掲示板やオリパラ食育、アスリートによる学年1回のオリパラの体験を通して関心をもたせられた。 ●一層、取組を工夫する。	○子供がオリンピック・パラリンピックに興味をもつことは良いことだ。
	外国語教育の推進	授業力の向上とALTの効果的な活用	・ALTとの打ち合わせと外国語活動に必要な教材の整備・開発	・外国語活動が楽しいと感じる児童8割	B	B	○ALTの積極的関わりやデジタル教科書が効果的で楽しく学習できた。 ●担任とALTの打ち合わせを充実させる。	○ゲームなどの活動を通して、楽しく学習しているようだ。
	健全育成に向けた取り組みの強化	いじめ・不登校の未然防止に向けた魅力ある学校づくりの取組の充実 ・チャイルドレン・サポートチームや生活指導連絡協議会の活用	・Q-Uや児童との個人面談の活用 ・いじめに関するアンケート・授業年3回 ・学級活動やクラス遊びの充実	・不登校児童の状況の改善 ・安心して過ごせるクラスだと感じる児童9割	B	B	○Q-Uや児童との個人面談などを、その後の指導に生かすことができた。 ●不登校対応を充実させる。	・不登校の組織的対応、対策委員会の定期的開催、夕会での情報共有の強化。
	基本的な生活習慣	基本的な生活習慣(挨拶など)の定着	・学期1回の生活チャレンジ週間 ・日常の生活指導の充実 ・挨拶運動の充実 ・教師の率先垂範	・基本的な生活習慣の定着8割 ・すすんで挨拶する児童75%	B	B	○数値目標は達成できた。 ●自分から進んで挨拶する児童を増やす取組を計画する。	○登下校で挨拶していく姿がよい。
情報モラルの向上	SNS教育の推進	・SNSノートを活用した授業各学年1回 ・中・高学年セイブティナー教室	・SNSの安全な使い方を理解している児童8割 ・家庭で決めたルールを守っている児童8割	B	C	○取り組みは概ね行った。 ●数値目標が7割程度で、一層の啓発を行う。	・生活チャレンジ週間に取り組み、状況に伝えたり、セーフティ教室やSNS授業を通したりして、啓発していく。	
学習習慣の定着	家庭学習による学習習慣の定着	・学校からの課題と自主学習の取り組み	・すすんで自主学習に取り組む児童8割	B	B	○全学年、8割5分の児童はすすんで自主学習に取り組んだ。 ●今年度自主学習をスタートしたため、児童の自主学習の取り組み内容を工夫させる。	○よい取り組みだ。	
その他	安全な環境づくり	安全環境づくり	・月1回の安全点検の実施 ・日常の教室環境整理・点検	・環境要因での児童の事故0	B	B	○日常の環境点検がしっかりと行われていることにより、環境要因での事故0につながった。 ●児童の持ち物に対する、整理整頓の徹底を図る。	・教室環境の整理と安全点検をひき続き行っていく。
	情報発信の充実	学校生活についての保護者・地域への積極的な発信	・宇喜田の教育年10回 ・学校HPの週1回以上の発信 ・学校日より、学年日よりなど	・学校の話題を保護者と児童で話す家庭8割	B	B	○HPで平均週3回以上、発信できた。 ●学校での児童の様子をより伝えていき、保護者と児童との話題を増やしていく。	○学校日よりなど関心をもって読んでいる。今後もさまざまな情報を発信してほしい。 ●HPの細部を見直す。
	清潔できれいな校舎内外の環境づくり	新型コロナウイルス感染予防対策 校舎内外の清掃と樹木の剪定など	・毎日の教職員による消毒 ・主事を中心とした日常の校舎内外の美化	・学校は、きれいで安全であると感じる児童9割	B	B	○感染症予防を全校で取り組めた。校舎内外を綺麗に保てた。 ●清掃指導を徹底をする。	○感染症対策に感謝している。